



第1167号
2010年5月30日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

ある日、炊き出しのお弁当をもらいに
来ている人たちの中に知っている顔を見
つけて「久しぶり」と声をかけた。する
と彼は「俺の顔忘れてな
い？」と言った。長年の知
り合いだし、数ヶ月前にも
道で行き逢って話をしたの
だ。「忘れるわけがないでし
よう」と答えると、短くな
った煙草を吸いながら、こ
こしばらくの出来事を色々
と話してくれた。
それからしばらくの間、
日焼けした、以前より少し
やせた彼の顔を時々思い浮
かべていて、ふと気付い
た。「忘れてない？」とい
う質問は、ただ単に顔を忘れていないか
というよりも、会わずにいた何カ月かの
間、わたしのことを思い出し、心にかけ

《み手のなかで》

忘れてない？

聖職候補生 下条知加子

てくれたことがありましたか？ という
問いかけなのではないだろうか。そう思
い返してみると、何度か思い出したこと
はあっても、今日のご飯を食べ
られていくか、身体は大丈夫か
しらすと心配していた、と
いうわけではなかった。それは
彼の顔を「忘れていた」ことにな
ってしまふのかもしれない
な、と少々申し訳ない気持ちにな
った。
誰からも心にかげられていな
いという思いは人を失望させ
る。誰かが覚えていてくれると
いう思いは人に力を与えるもの
だ。今日を過ごすことができる
のは、誰かが心にかげ、祈って
くれているからに違いない。
主に感謝。

(月島聖公会勤務)

- ◇5月の代禱・信施奉献先
▽柏聖アンデレ教会のため▽ア
ジア・エキユメニカル週間
(5・23〜29)▽名古屋学生青
年センターのため▽カパティラ
ンの働きのため▽葛飾学園(サ
ンピエール・保育園)のため
- ◆とこしえの平安
- 3月23日 大村 昭士(73) 諸聖徒
- 4月4日 植田 ツマ(88) 諸聖徒
- 4月10日 佐藤 敏子(89) 諸聖徒
- 4月27日 野村 光子(105) 大森聖アグネス
聖マーガレット
- 5月6日 酒向登志郎(65) 聖愛
- 5月9日 鈴木 和夫(76) 聖アンデレ

今週・来週の予定

5月30日~6月12日

- 5月14日 澁谷 松生(81) 聖マーガレット
- 5月21日 酒向可津恵(95) 聖愛
- 5月21日 北村 信正(95) 聖愛
- ▽6月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 2日(水) 18時
半、オルガン演奏に続き19時。
演奏者||ジャン・フリリップ・
メルカールト。無料(会場献金)
||同院学生会。
- ▽6月ランチタイム・オルガン
コンサート *聖。ウロロ11日
(金)、佐藤礼子・川端りさ(リコ
ーダー) *聖アモテ15日(火)、
黒岩里美 *神田キリスト16日
(水)、湯口依子 各12時20分から
30分程度、入場無料。
▽聖公会神学院寮祭 6月
5日(土) 11時~15時、誰もが
楽しいプログラムで歓迎。主催
- 30(日) 三位一体主日・聖霊
降臨後第1主日
主教巡回
聖マーガレット教会
城南G教会協議会
下町G教会協議会
教区費分担金制度検
討特別委員会
- 31(月) 教財務サービス委員
会
ハラスメント防止委
員会「研修会」
聖霊降臨後第2主日
主教巡回
聖アンデレ教会
フェスティバル実行
委員会
銀座朝拝会
エルサレム教区協働
委員会
主教選挙特別委員会
(ペテロ)
- 6月
3(木) 信仰と生活委員会
11(金) 広報委員会
12(土) 主教推薦理由を聞く会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

《ようこそ、東京教区へ》

教区人事で既報のとおり、この春から3人の司祭方が東京教区で奉職・勤務されている。寄稿していただいた「ひとこと」挨拶で紙上に紹介を…。

*スコット・ウオーカー司祭:

主の平和。ノーラン司祭の後、聖オルバン教会にて勤務をしています。1990年に群馬県前橋市のYWCAで働いていた頃、初めて聖オルバン教会に参りました。以来ここが私の母教会となりノーラン司祭、植田主教様、常置委員の皆様方の指導により聖オルバン教会の聖職になりました。

神様の(慈悲ふかき)お導きにより、皿洗いから教会委員、聖職候補生、執事、牧師となり

ました。そして妻のあけみと共に16年間、故郷を遠く離れた日本で、イエス様との繋がりをまだ持たない英語を話す人々、もちろん日本聖公会と東京教区の皆様と、神様の愛を喜び分かち合う機会をいただいています。

恐縮ですが、私達はまだ教会で結婚式を挙げていなかったもので、昨年1月18日にノーラン司祭に神様と教会の祝福が私達にあるように証言して頂きました。すると、その直後に妻は初めての赤ちゃんを授かり、ラフアエラ・真理愛が10月7日に誕生いたしました。

将来の事は判りませんが神様がお望みになられる間、神様の聖なる御名のために私はここに留まり役割を果たす所存です。

*金大原(キム・デウオン)司祭
: 韓国聖公会ソウル教区出身で、昨年の9月に東京へ参りまして日本語を勉強し、今年4月から立教大学のチャブレンとして働くことになりました。

司祭になってから12年目ですが、その中で去年まで8年間も教区の社会宣教部長として社会宣教現場を支援していました。そのおかげで日韓聖公会の交流にも深く関係しましたし、ついに宣教師として日本へ来るようになりました。けれども、実は日本語の勉強が思ったほど易しくないせいで周りの方々にご迷惑をかけています。本当に大変ですが、今までのとおり神様の導きと皆様のお助けによつて、よい実が結ばれると信じていま

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

す。6ヶ月くらい東京教区の多くの教会へ行き、いろいろな活発な活動状況と伝統を守っていることを見て感動しました。

まだ自分の意思を伝達するのは難しいですが、特に最初の勤務地の立教大学で若者と共に呼吸することになったのも、大きい恵みだと思っています。皆様、今までお世話になりました。これからどうぞよろしくお願いたします。

*池星熙(チ・ソンヒ)司祭:

小学校を卒業してから14歳で軍隊に入る前まで工場の労働者として働きました。しかし勉強への意欲が強く、働きながら引き続き学び続け、中学校と高校を検定試験で卒業しました。

軍隊の生活が終わってからは

ソウル市の公務員として3年間勤務、公務員を辞めて1991年、聖公会大学の神学部に入学しました。97年、神学大学院を卒業し、分ち合いの家に伝道師で派遣されました。その後01年に司祭按手を受けました。当時高齢化社会に備える準備をしていた政府に選ばれてシニアクラブという地域センターを作り8年間勤務し、さらに韓国の厚生労働省の下でシニアクラブ協会を作り、初代会長として6年間働きました。現在韓国の

シニアクラブは全国に80の支部があつて会員は6万人です。03年には韓国森生指導者協会を作り、初代会長歴任もいたしました。

このたび、日本での牧会を始める新たな召命を与えられ、聖アンデレ教会で勤務することになりました。たぶん大変な道だと思いますが、神様と共に歩みながら新たな人生を始めようとの決意をいたしました。皆さまの応援とお祈りをお願いいたします。

「主教選挙候補者の推薦理由を聴く会」

*日時 6月12日(土) 14時~16時

*会場 聖アンデレホール

推薦期限 6月5日(土)

推薦書提出先 東京教区主教選挙特別

委員会委員長・高橋顕司祭(阿佐谷聖)へテロ教会宛 「候補者推薦用紙」は教区事務所に常備

(東京教区主教選挙特別委員会)